TMPS医学館　過去問解説図書館

小 論 文

近畿大学医学部　2026年度型
そっくり類題

※ これは近畿大学の入試問題ではありません。
2026年度の出題形式（1題・400字以内・40分）をもとに、
TMPS医学館が題材を変えて作成したオリジナル問題です。

試験時間の目安：40分　（解答は400字以内）

- 次ページの原稿用紙（横書き20字×20行＝400字）に、横書きで解答してください。
- 句読点や「」も1字として数え、400字を超えないようにしてください。段落の最初は1マスあけます。
- 解答例と解説は、解説ページ（TMPS医学館の過去問解説図書館）に掲載しています。

問　近年、医療のデジタル化が進み、検査の数値やAIによる支援に基づく判断が増えている。一方で、患者の話をじっくり聞き、納得できる診療を行うことの価値も、あらためて見直されている。医学生や医師が学んでいく上で、データに基づく医療と、患者との対話を重んじる医療のバランスについて、思うところを述べなさい。（注）横書きで400字以内にまとめること。

設計図メモ（書く前の整理に使ってください。提出しません）

立場（結論）：
現状と課題：
柱①：
柱②：
反対意見への応答：
医療者として：

解答用紙（原稿用紙　20字×20行）

100字ごとに右に目印があります

100

200

300

400